



カンタベリー補習授業校

学校だより

第7号

令和7(2025)年8月22日 発行

校長 蛭名 博人



8月16日にオークランド日本語補習学校、ワイタケレ補習授業校、ウェリントン補習授業校の先生方をお招きして、NZ4補習授業校合同授業研究会を行いました。

授業研究会の大きなねらいは、よりよい授業づくりの追求と教師の指導力向上にあります。日本の学校とは違う教室環境や限られた授業時間数の中で、子どもたちの実態をしっかりとつかみ、それをもとに効果的・効率的に授業を進め、児童生徒に確かな学力（学習指導要領の内容）を身につけさせていくのが大切です。

その対応・解決に向けて、今年度は研究テーマを【「わかる・できる」を実感でき、学ぶ意欲が高まる授業の創造～「日本語指導」を軸とするユニバーサルデザインの授業づくりを通して～】とし、NZ4補習校の先生方や事務局の方々が本校に集まり、授業研究会と情報交換を行い、とても内容の濃い1日となりました。

研究授業として授業を公開した5年2組の子どもたちは「ちょっと緊張した」と言いながらも、それぞれが自分の考えを持って話し合いに参加し、最後のグループ毎の発表では、根拠のしっかりした主張をすることが出来ました。授業後の研究会でも本校の生徒たちの学びの雰囲気よさと頑張りにより多くの賛辞をいただくとともに、これからのよりよい学びづくりにつながる多くのヒントをいただきました。

クラスヘルプの皆様ありがとうございます。新たな保健係ヘルプも始まりました。

本校では日常の学習の中で多くの「クラスヘルプ」の方々に子どもたちの学びを支えていただいています。先日の授業研究会でも各学級で子どもたちの学習を見守り、支えていただきました。本当にありがとうございます。

さて、風邪や風邪に似たウィルス性の疾患がはやっており、本校もここ2週間ほど欠席者や早退者が多く見られましたが、先々週から後半の時間帯に「保健係ヘルプ」の さんにご協力をいただいています。 さんは看護師資格を有し日本で臨床看護師をされていた方です。具合の悪い子どもに養護教諭的・医療的な支援をしていただけのこと感謝したいと思います。前述の時間帯にホールもしくは図書室で支援をしていただいているので相談事がありましたら声をかけてください。

ilam スクール校舎工事に伴う安全確保と、教室の移動について

前号ならびにメール配信でお伝えしたとおり、ilam スクールの校舎工事が進んでいます。そのため、いくつかのことについて ilam スクールと確認しました。ご不便をおかけしますが、子どもたちの安心安全な学習環境の確保のため、ご理解ご協力をお願いいたします。

1 プレイグラウンド周りの安全確保

ホールから1、2年生の教室へ向かう通路(プレイグラウンド周辺)が工事のため幅が大変狭くなっています。注意して通っていただくようにお願いします。このようにプレイグラウンド周りが危険ですので、授業中に小さいお子さんに校地内遊具や運動場を使用させることは控えてください。また授業で遊具や運動場を使うことがありますのでその妨げにならないようお願いします。

2 電気工事による一時的教室移動

9月13日(土) 11番教室(小2-1)と12番教室(小2-2)が工事停電となるそうです。そのため、この日2年1組は15番教室を、2年2組は16番教室を使用します。

3 工事の進捗に伴う教室移動

教室棟の大きな改装工事の進捗に伴い、今後以下のような教室移動が必要になります。

旧9番～12番教室は今学期中に完成予定で、10月11日の週(補習校の3学期始)に、現5番～8番教室がそこに移動し、次はその5番～8番教室の工事が始まって12月末に完了予定ということです。従って、3学期のスタート時は、工事の終わった教室棟に移動することになります。そしてその工事の完了前後には現1番～4番教室が工事に入るそうです。先日この工事とアンケート等による生徒の要望を踏まえて中学生が話し合い、明日より教室を移動することになりました。

このように、工事の進捗や工事環境の状況によって、今年度中に何度か教室の移動をせざるを得ない可能性があります。「子どもたちの安心安全で適切な学習環境の確保」の観点で対応していきたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いします。